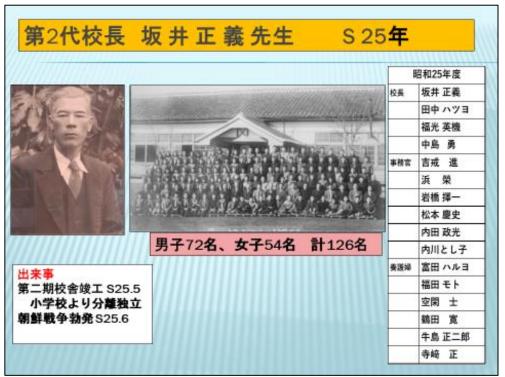
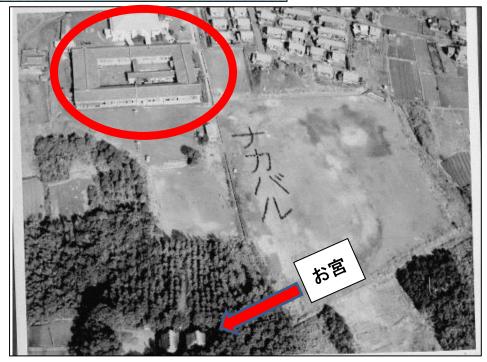
〇中原中学校の歴史 パート2

第2代校長 坂井正義先生は、昭和25年度の1年間だけ本校に勤務されました。この年は、世界の出来事としては、朝鮮戦争が勃発した年でもあります。この年の5月21日独立校舎二期分が落成し、完全に小学校と分離します。昭和25年度の第4回卒業生は、今年(H31)84歳になられる昭和10年度に生まれた方々で、男子72名、女子54名 計126名でした。

中原町史によると、独立校舎とするか、組合立統合中学とするのかで協議と交渉があったが、姫方原の松林と決められたようです。戦後まもなく財政的に厳しい中で、村民の寄付、村営住宅の譲渡代金、深底村有地の開放などから、節約型のロの字校舎が造られたとあります。写真は、坂井正義校長と第4回卒業生、当時の職員名簿です。また、右下の航空写真は昭和34年(1959年)頃のものですが、現在の校舎付近にロの字型の校舎(平屋づくり)があったのが分ります。また、この写真には、校舎北側に講堂兼体育館(昭和31年5月落成)が写っていますが、昭和25年当時は、ロの字校舎の西側部分が体育室と音楽室だったようです。





【昭和34年(1959年】頃の航空写真】